

建築デザイン系企画

特別講演 **「最近の建築デザインの潮流にふれながら」**

■日時：2008年9月26日（金） 10:30~12:00

■会場：四国職業能力開発大学校 応用棟3階 F会場

講師

岸上 克康氏 Katsuyasu Kishigami

岸上克康建築設計事務所 所長



「観音寺の家」



「今里の家」



「一ノ谷総合コミュニケーションセンター」



◎経歴

1957年 香川県観音寺市生まれ  
1985年 香川職業訓練短期大学校建築科卒業  
1986年~1992年 山本忠司建築総合研究室  
1992年 岸上克康建築設計事務所設立

◎受賞

1993年 「観音寺の家」で第4回アンドレア・パラディオ国際建築賞（イタリア）  
1999年「今里の家」で第1回 ar+d 賞（イギリス）  
「今里の家」でインター・イントラスペースデザインセレクション'98 デザイン賞  
2001年「一ノ谷総合コミュニケーションセンター」でインター・イントラスペースデザインセレクション'00 デザイン賞

■主旨

岸上氏は、「観音寺の家」で1993年に40歳以下を対象とした伊の国際建築家コンテスト「アンドレオ・パッラーディオ国際建築賞」特別賞を受賞。

住宅「今里の家」は、1999年世界の45歳以下の建築家のための第1回国際コンテスト「ar+d賞」（アーキテクチュラル・レビュー誌主催）で21人の受賞者の1人に選ばれた。「ar+d賞」は、審査員の死去などで中断しているパッラーディオ賞に代わる世界で唯一の若手の登竜門として注目を集め、約900点の応募があった。また、ロンドンの英王立建築家協会の建築ギャラリーで、世界の若手建築家の1人として作品紹介された。

受賞作品「今里の家」は、高松市今里に98年に完成した住宅。道路に面した東側、南側には窓がなく中庭を設け採光、通風を得るプライバシーを重視した都市型住宅。ガルバリウム鋼板波板、ポリカーボネート波板など現代的な素材を使用し建築の新しい造形と空間構成に挑戦した点が評価を受けた。

岸上氏は25歳で香川職業訓練短期大学校に入り、86年から92年まで故山本忠司氏の建築事務所に在籍。2000年9月に独立後初の公共建築として設計した観音寺市の「一ノ谷総合コミュニケーションセンター」が完成している。

「日本では受け入れにくいかもしれないが、これまで通りシンプルを追及。国内でも実績を上げ、海外の賞にも積極的に応募するなど作品の幅を広げたい」と語る岸上氏に、短期大学校時代やその後の活躍について、ご紹介いただきます。

■司会：四国職業能力開発大学校・住居環境科 山下 世為志

■企画：(社)実践教育訓練研究協会／建築・デザイン系専門部会